

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2025年 3月12日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	換気空調系コントロール建屋非常用電気品室冷凍機(A)ドライヤー冷媒液入口弁及びドライヤーバイパス弁において、弁状態確認時に配管計装線図と現場の開閉状態相違(ドライヤーバイパス運転)が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、冷媒液へ水分が混入してないことが確認できているため、系統機能への影響はない。	GIII	3月6日
2	3号機	プロセス計算機システムにおいて、プラント監視中に伝送回路の故障(「情報バス1 HUB-INF2 A通信障害」警報発生)が認められたため、当該システムの基盤を交換。 なお、伝送回路は多重化されており、プラント監視に影響はない。	GIII	3月8日
3	4号機	非常用ディーゼル発電設備(A)排気ファン室防火ダンパー(No.12)において、点検時に動作不良(自動閉信号で閉せず)が認められたため、当該防火ダンパーを修理。 なお、当該ダンパーを「閉」運用としたため、火災防護への影響はない。	GIII	3月7日
4	3・4号廃棄物処理設備	焼却設備焼却炉内監視用カメラにおいて、焼却炉運転確認時に映像不良(映像が映らない)が認められたため、当該監視用カメラを交換。 なお、代替カメラへ取替え映像確認は可能なため、焼却設備運転に影響はない。	GIII	3月7日